

学校関係者評価報告書

学校評価委員会を開催し、「北海道情報専門学校」の 2024 年度の自己点検・自己評価に基づく、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

・評価実施日：

2025 年 6 月 27 日(金)、30(月)

・学校関係者評価委員：

有識者委員 1 名、企業委員 1 名、卒業生委員 2 名、地域住民委員 1 名（計 5 名）

評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標 教育理念・人材育成目標ともに、しっかりと定められている。	引き続き、時代の変化・ニーズに対応したカリキュラムを実践してください。
(2)学校運営 自己点検・評価が法令に基づき適切に行われていることを確認した。	引き続き、健全な学校運営に取り組んでください。来年 3 月に卒業生が 20,000 人を超えるということで、同窓会活動を通して、学校運営に寄与できるような情報発信を検討ください。
(3)教育活動 カリキュラム検討委員会による、毎年教育カリキュラム見直しにより、高い教育内容を維持し、社会のニーズに即した教育がなされており、評価できる。	(提言) 専門学校の「単位制」への移行は、大学との単位互換など、学生の学びの柔軟性を高める良い機会になるのではないかと。 (回答) 単位制移行に向けてカリキュラムの全面的な見直しを行っている最中である。近く検討委員会を予定しており、学生の学びの選択肢を広げられるよう準備を進めている。
(4)学修成果 在校生に対する「資格」・「就職」・「ものづくり」に対し成果を上げており、評価できる。コンテストでの最優秀賞受賞や、特典としてシリコンバレー研修に参加した実績は素晴らしい。	特になし。

(5) 学生支援 教育面においてしっかりと取り組んでおり、スクールカウンセラー制度を導入し、学生からの相談に対応できる環境を整えており、評価できる。	引き続き、学生が継続して教育・就職支援を受けることができる環境を維持してください。
(6) 教育環境 教育環境については、計画的に整備されており、特に問題はない。	引き続き、実践的な高い技術力を習得できる学習環境を整備してください。
(7) 学生の受入れ募集 しっかりと取り組んでおり、特に問題はない。	(提言) IT 分野における女性の活躍が期待される中、女性学生の割合はどの程度か。今後増やすための取り組みはあるか。 (回答) 工業分野全体で女性が少ない傾向にあるが、企業からの需要は非常に高い。就職も女子学生から決まることが多い。今後はオープンキャンパスなどで、女性が活躍できる業界であることをより積極的にアピールしていきたい。
(8) 財務 健全な財務状態が維持されており、特に問題はない。	特になし。
(9) 法令等の遵守 法令や専修学校設置基準に準拠した規程・規約等を制定し、適正な運用がなされており、教職員や学生に対しても啓発を図っており、特に問題はない。	引き続き、社会人としてのモラルを持った人材の養成をお願いします。
(10) 社会貢献・地域貢献 学生による地域住民向けパソコン教室では、参加を楽しみにしている住民も多く、毎年継続して参加している方も多い。また、学生によるボランティアの清掃活動は大変ありがたい。若い学生が地域で活動している姿は、地域の活力にも繋がっている。	特になし。

以上